

# 令和2年度高岡市の行財政改革について

令和2年2月

## 高岡市行財政改革推進方針(第2次行財政改革アクションプラン) における令和2年度の主な取組みについて

### ○令和2年度における取組みの特徴

第2次行財政改革アクションプラン(以下、「プラン」)については、令和元年度で最終年度を迎えるところであるが、計画期間を延長し、取組み事項・内容の改定を行うこととしている。

令和2年度は、改定後のプランに基づき、これまでの行財政改革の視点を踏まえつつ、社会情勢やテクノロジーの変化に対応するため、次世代技術を活用した事務の効率化や、行政サービスの質の向上を図るなど、新たな行財政改革の取組みを推進するとともに、職員数の適正化や時代に応じた行政組織の構築に引き続き取組み、効率的・効果的な行財政運営を目指す。

また、財政健全化緊急プログラムによる財政構造の収支均衡に向けた取組みや、公共施設再編計画による施設総量の適正化に向けた取組みを着実に実行し、プランと各計画を一体的なものとして取組み、行財政改革をより強力に推進していく。

取組項目	令和2年度の主な取組予定
1 事務事業の見直し	○事務事業の整理・合理化 ⇒「1高岡市財政健全化緊急プログラムの取組みについて」(3P～)参照 ○総合計画第4次基本計画の策定に向けた目標とする指標の見直し ○自治体クラウド(基幹系業務システム)の運用開始 ○RPA (Robotic Process Automation)の活用による事務作業の効率化 ○電子申請の推進 ○ストックヤードの民間委託化 ○だいがوデイサービスセンターの民営化
2 信頼される行政の構築 ⇒詳細は「3職員数の適正化・時代に対応した行政組織等について」(17P～)参照	○新たな行政課題へ対応した組織体制の構築 ○職員数の適正化 正規職員数 R2 初見込:1,773 人(前年比 15 人減) (H27 初比では 131 人減、H30 初比では 69 人減)
3 健全財政の確保	○健全な財政運営 ○市債の適正管理 ⇒「1高岡市財政健全化緊急プログラムの取組みについて」(3P～)参照 ○R2 市税収納率…95.6%を目指す。 ○【病院】急性期・高度医療の充実、安全・安心・納得の医療の提供、地域に根差した医療の提供と、安定した経営基盤の確立 ○【水道】上下水道ビジョンに基づく「安全」「強靱」「持続」の各施策推進による、安定した上下水道サービスの提供と健全経営

<p>4 公有資産 マネジメントの推進</p>	<p>○公共施設の機能集約化と効率的運用 ○地域振興機能の確保に向けた施設機能の整理 ⇒「2高岡市公共施設再編計画に掲げる施設に関する取組み(R2~R4)年度」(15P~)参照</p> <p>○道路維持管理計画の推進 ○橋梁(市道橋)の長寿命化推進</p>
<p>5 市民と共に歩む 市政の推進</p>	<p>○「市民と市政」をはじめとした市政情報配信の充実 ○オープンデータ掲載数の拡充 ○電子申請の推進(再掲)</p>

## 1 高岡市財政健全化緊急プログラムの取組みについて

### 財政健全化緊急プログラム（平成 30 年 2 月）

【目標】 収支均衡した財政構造

令和 5 年度当初予算編成時までに構造的な約 40 億円の歳出超過の解消

【実施期間】 平成 30 年度から令和 4 年度まで【5 カ年】

#### (1) 投資的経費の抑制（目標額：公債費で△3 億円）

〔達成見込額(H30～R2 年度)： — 億円（令和 4 年度に効果を評価）〕

投資的経費の抑制により、事業債の発行額を年間 45 億円以内（臨時財政対策債等を含む総額で年間 75 億円以内）とし、実質公債費比率 18%未満の堅持と令和 4 年度以降の公債費の大幅な抑制を図ることで、今後の財政運営の健全化を着実に進める。

平成 30 年度の市債発行額の抑制により、令和 4 年度の公債費を 3 億円削減

※ 市債の発行条件として、借入後 3 年間の据置期間を想定

【H30 年度】（決算ベース）〔※借換債を除く〕

事業債発行額 40.7 億円（臨時財政対策債等を含む総額 69.9 億円）

【R1 年度】（現計予算）

事業債発行額 38.7 億円（臨時財政対策債等を含む総額 62.8 億円）

【R2 年度】（当初予算）

事業債発行額 34.7 億円（臨時財政対策債等を含む総額 56.7 億円）

(2) 公債費の平準化等 (目標額 :  $\Delta 7$  億円)

①繰上償還の実施〔達成見込額(H30~R2年度) :  $\Delta 0.9$  億円〕

【R1年度】  $\Delta 0.9$  億円 (効果額)

平成20年度借入債〔2018(H30)年度末残高 : 3.9 億円〕の繰上償還

②借換えの実施〔達成見込額(H30~R2年度) : — 億円〕

過去に借り入れた市債の一部を借換えし、公債費の平準化を図る。

【H30年度】 (決算)  $\Delta 15.1$  億円〔財源対策〕

【R1年度】 (当初予算)  $\Delta 13.4$  億円〔財源対策〕

【R2年度】 (当初予算)  $\Delta 11.3$  億円〔財源対策〕

【平準化による効果額推移見込】 (単位 : 億円)

	H30	R1	R2	R3	R4
効果額	( $\Delta 14$ ) $\Delta 15.1$	( $\Delta 14$ ) $\Delta 13.4$	( $\Delta 13$ ) $\Delta 11.3$	( $\Delta 10$ ) $\Delta 10.3$	( $\Delta 7$ ) $\Delta 7.4$

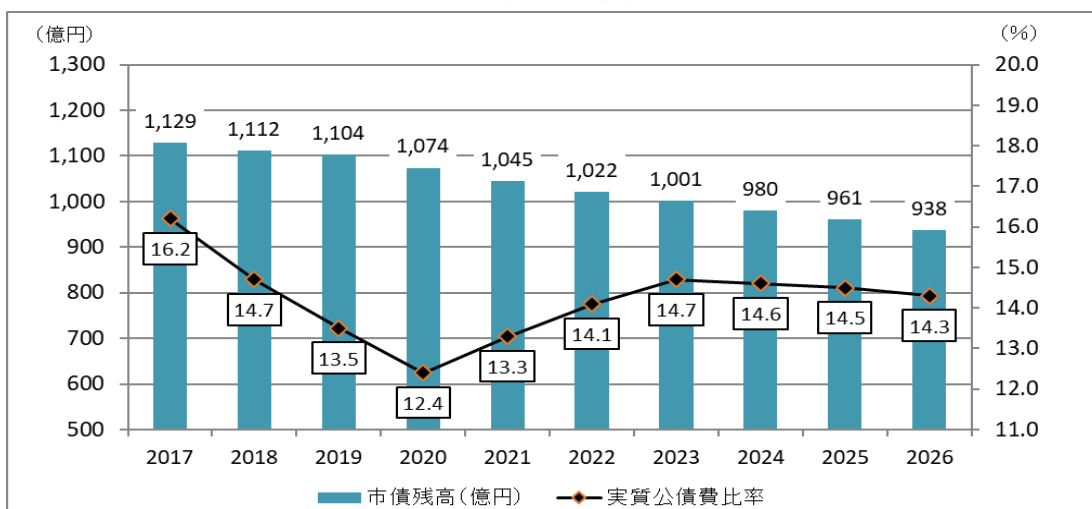
※ ( ) は、緊急プログラム策定時の見込額

【今後の公債費推移見込】 (単位 : 億円)

	H30	R1	R2	R3	R4
公債費見込額	(93) 94.6	(92) 90.5	(94) 92.0	(97) 94.6	(96) 93.2

※ ( ) は、緊急プログラム策定時の見込額

<参考> 取り組み後の市債残高及び実質公債費比率の推移 (見込み)



※ 平準化の影響により、後年度において実質公債費比率の増加が見込まれるが、市債発行額の徹底管理により実質公債費比率の18%未満を堅持する。

(3) 公共(的)施設管理コストの縮減(目標額:△6億円)

[達成見込額(H30~R2年度):△5.1億円]

公共施設再編計画に掲げた公共施設の再編に速やかに取り組む。また、すべての施設で管理コストや業務内容の見直しを行い、経費を節減する。

なお、運営に深く関与しているその他の施設についても、積極的に整理・統合を進める。

【H30年度】△2.0億円(決算額)

①公共施設再編計画に掲げる施設

年度	見直しの内容	施設等	改善額
H30 年度	譲渡	農村環境改善センター(戸出会館)	△1.2億円
		山川キャンプ場	
	民営化	能町保育園	
	廃止	農村環境改善センター(中田会館)	
		中田公衆トイレ	
	休館	市民会館	
	維持管理費用 や業務内容の 見直し	農業センター	
		西部総合運動公園	
		グラウンドゴルフ場	
		福岡B&G海洋センター	
福岡防災センター			
	ふれあい福祉センター		

②その他の施設

年度	見直しの内容	施設名	改善額
H30 年度	事業費や支援 内容の見直し	自然休養村	△0.8億円
		アリーナ・フィットネスジム	
		高岡地域地場産業センター	
		伏木駅、越中中川駅、戸出駅、西高岡駅	
		富山県高岡看護専門学校	
		その他公共施設(駅周辺施設、道路施設、公園施設、庁舎など)	
		その他の公共的施設等	

【R1 年度】△2.5 億円

①公共施設再編計画に掲げる施設

年度	見直しの内容	施設等	改善額
R1 年度	民営化	長生寮	△2.1 億円
	維持管理費用 や業務内容の 見直し	ふれあい福祉センター、老人福祉センター ⇒浴室の営業日数の見直し (週6日⇒週3日)	
		生涯学習センター ⇒予約システム等の見直し	
		市立公民館 ⇒土曜日分の勤務時間の見直し	
		福岡歴史民俗資料館及び雅楽資料展示分 室、武田家住宅 ⇒閑散期の勤務時間の見直し	
		スポーツコア、城光寺運動公園等 ⇒閑散期の勤務時間の見直し	
		伏木・戸出・中田支所及び福岡総合行政 センター ⇒戸籍届出の時間外受付業務を本庁に 一元化	
その他の公共施設			

②その他の施設

年度	見直しの内容	施設名	改善額
R1 年度	用途変更	B1 ギャラリー	△0.4 億円
	事業費や支援 内容の見直し	その他の公共施設等 〔市街灯 (LED 化) など〕	

**【R2 年度】△0.6 億円**

**①公共施設再編計画に掲げる施設**

年度	見直しの内容	施設等	改善額
R2 年度	営業終了	二上まなび交流館	△0.4 億円
	維持管理費用 や業務内容の 見直し	文化芸能館（青年の家） ほか	

**②その他の施設**

年度	見直しの内容	施設名	改善額
R2 年度	事業費や支援 内容の見直し	中央図書館	△0.2 億円
		高岡斎場	
		道の駅雨晴	
		男女平等推進センター	
		竹平記念体育館	
		その他の公共的施設等	

(4) 事務事業の見直し(目標額:△15億円)

[達成見込額(H30~R2年度):△10.9億円]

**【H30年度】△5.6億円**

年度	取り組み内容 (主なもの)	効果額 (一般財源ベース)
H30 年度	①事務事業(委託料、補助金等)の見直し	△3.6億円
	②繰出金の見直し	△1.5億円
	③事務的経費等の見直し	△0.5億円
	(計)	△5.6億円

**【R1年度】△3.0億円**

年度	取り組み内容 (主なもの)	効果額 (一般財源ベース)
R1 年度	①事務事業(委託料、補助金等)の見直し	△1.6億円
	②繰出金の見直し	△1.1億円
	③事務的経費等の見直し	△0.3億円
	(計)	△3.0億円

**【R2年度】△2.3億円**

年度	取り組み内容 (主なもの)	効果額 (一般財源ベース)
R2 年度	①事務事業(委託料、補助金等)の見直し	△2.0億円
	②繰出金の見直し	△0.1億円
	③事務的経費等の見直し	△0.2億円
	(計)	△2.3億円

**【R3~R4年度に取り組むもの】**

・事務事業の見直し【継続】 ※予算化の必要性・予算規模等については、不断の点検を実施
・繰出金の見直し【継続】
・事務的経費等の見直し【継続】
・補助金の見直し【継続】



①事務事業の見直し【R2年度】（主なもの）

・事務事業（補助金等以外）の見直し

事業名等	見直し内容等	効果額 (一般財源ベース)
基幹系業務システム運用事業	クラウド導入(R3.1～)による効果額	△30.0百万円
一時借入金利子	資金繰りの改善に伴う削減	△8.0百万円
ひとり親家庭等生活応援手当	事業の見直し	△6.6百万円
まちなか回遊性促進事業	事業内容の見直し	△4.0百万円
観光宣伝事業費	委託内容の見直し	△2.5百万円
収納事務費	事務効率化による非常勤職員の削減	△2.4百万円
障害者生活支援事業	委託内容の見直し	△2.0百万円

・補助金等の見直し

事業名等	見直し内容等	効果額 (一般財源ベース)
高岡市民間教育・保育施設等運営事業費補助金	段階的削減	△15.9百万円
保証料補給金	補助総額の縮減	△12.9百万円
新婚家庭のための住宅増改築等資金利子補給事業	H30年度からの新規受付停止に伴う減	△9.1百万円
富山県高岡看護専門学校運営費補助金	派遣職員の減少に伴う補助金の減	△6.6百万円
観光宣伝事業関係補助金	事業終了等に伴う削減	△2.2百万円
校下地区敬老会補助金	段階的削減	△1.6百万円

②繰出金の見直し【R2年度】

事業名等	見直し内容	効果額 (一般財源ベース)
介護保険事業会計繰出金	業務の一部見直しによる減	△4.0百万円
国民健康保険事業会計繰出金	事業の一部委託化による減	△0.8百万円

- (5) 総人件費の圧縮 (目標額 : △ 5 億円)  
〔達成見込額 (H30~R2 年度) : △ 6. 0 億円〕

① 組織体制の見直しと職員の適正配置

目標数           △ 7 0 人超 (※対象は正規職員)

現行の行財政改革アクションプラン(H27-R1)に掲げる削減目標(5年で70人)を超える正規職員数を緊急プログラム期間中に削減することにより、△5億円の削減効果を達成する。

○正規職員数の推移

〔H30 年初〕       (実数)   1, 842 人

〔H31 (R1) 年初〕 (実数)   1, 788 人 (前年比 : △54 人)

〔R2 年初〕       (予算)   1, 773 人 (前年比 : △15 人)

※全会計職員数 (上下水道局、市民病院を含む)

職員数削減効果額 (上下水道局、市民病院を除く)

【H30 年度】 △ 2. 3 億円

【R1 年度】   △ 2. 6 億円

【R2 年度】   △ 1. 1 億円

※削減効果額は、正規職員数の削減等による人件費の減少分を効果額として算定したもの。

② 臨時的な人件費の削減措置

【H30 年度】△1.7 億円

〔※ H29 年度の臨時削減分等を控除 △1.5 億円〕

【R1 年度】△1.7 億円

【R2 年度】△1.7 億円

「①組織体制の見直しと職員の適正配置」による恒常的な対策を進める間、臨時的な人件費の削減を行い、削減効果を上積みする。

	市議会議員	特別職（市長等）	市職員
削減率	議長 △5%、 副議長・議員 △3% 〔政務活動費 75,000 円 ⇒50,000 円〕	市長 : △40% 副市長 : △15% 教育長 : △10% 上下水道事業管理者 : △10%	管理職 : △5% 一般職 : △3% 若年層 : △2%
削減額 (年額)	報酬 △5,305 千円 〔政務活動費 △7,800 千円〕	△8,383 千円	△1.6 億円※ 〔上下水道局、 市民病院を 含めると △2.2 億円〕

※特別会計（上下水道局、市民病院除く）への人件費繰出分を含む

(6) 歳入の確保 (目標額 : + 4 億円)

[達成見込額 (H30~R2 年度) : + 4. 2 億円]

【H30 年度】 + 1. 2 億円

【R1 年度】 + 1. 0 億円

【R2 年度】 + 2. 0 億円

取り組み内容	目標額	H30 年度 効果額	R1 年度 目標額	R2 年度 目標額
<b>① 市税収納率の向上等と税収確保策の推進</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市税 (滞納繰越分) の徴収率の向上</li> <li>・企業活動、土地利用等の促進による税収確保 等</li> </ul>	<b>+ 3 億円</b>	<b>+1. 1 億円</b>	<b>+0. 5 億円</b>	<b>+1. 0 億円</b>
<b>② 受益者負担の原則の徹底と使用料・手数料の適正化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・費用や行政目的に応じた施設使用料・手数料の見直し</li> <li>・減免制度の再点検</li> <li>・定期的な料金改定の検討 等</li> </ul>				
<b>③ その他</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと納税、広告料収入等の更なる拡充</li> <li>・保有資産の活用</li> <li>・特定目的基金の活用方針の見直し</li> <li>・共創による「行政の稼ぐ力」の推進 (ネーミングライツ、クラウドファンディング、その他収益事業の検討) 等</li> </ul>	<b>+ 1 億円</b>	<b>+0. 1 億円</b>	<b>+0. 5 億円</b>	<b>+1. 0 億円</b>
<b>【合計】</b>	<b>+ 4 億円</b>	<b>+1. 2 億円</b>	<b>+1. 0 億円</b>	<b>+2. 0 億円</b>

※その他、遊休資産の売却や基金の活用、資金手当債の発行等による臨時的な資金対策を実施。

各年度の当初予算案における対策

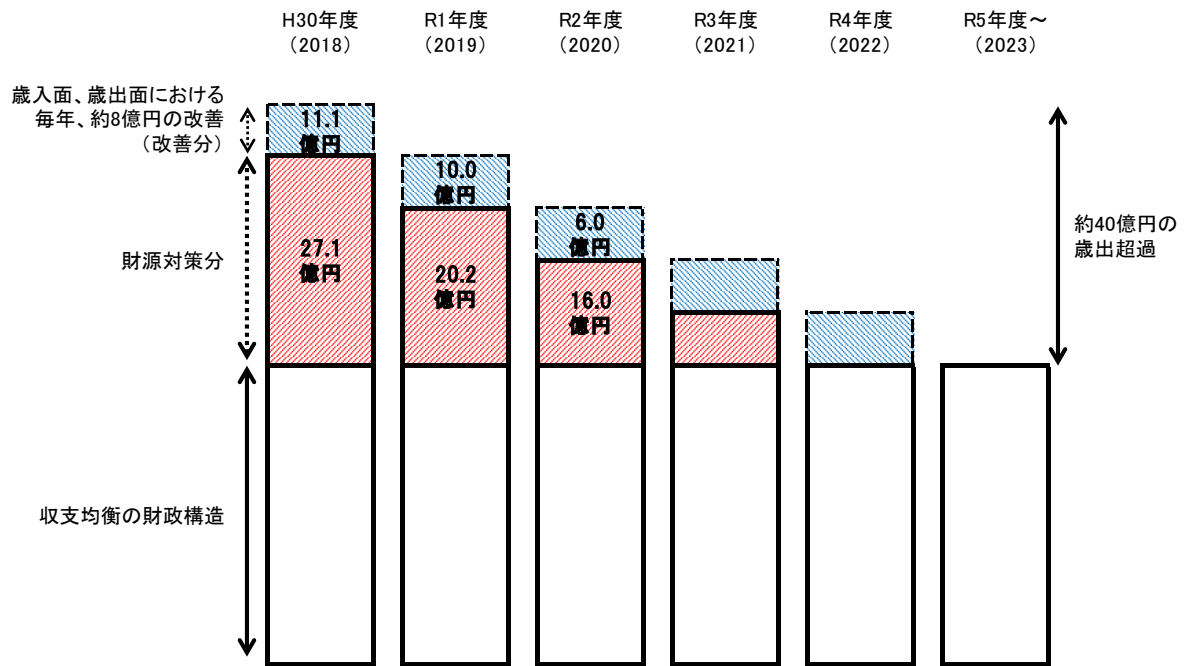
(億円)

区分	H30 年度 (決算)			R1 年度 (当初予算)			R2 年度 (当初予算)		
	改善分	財源対策分	計	改善分	財源対策分	計	改善分	財源対策分	計
①市債発行抑制	—	—	—	—	—	—	—	—	—
②公債費の平準化等	—	15.1	15.1	0.9	13.4	14.3	—	11.3	11.3
③公共(的)施設管理	2.0	—	2.0	2.5	—	2.5	0.6	—	0.6
④事務事業の見直し	5.6	—	5.6	3.0	—	3.0	2.3	—	2.3
⑤総人件費の圧縮	2.3	1.7	4.0	2.6	1.7	4.3	1.1	1.7	2.8
⑥歳入	1.2	10.3	11.5	1.0	5.1	6.1	2.0	3.0	5.0
合計	11.1	27.1	38.2	10.0	20.2	30.2	6.0	16.0	22.0

※ 令和2年度は、当初予算案における金額であり、今後も上積みを図る。

※上記内容にあわせて、平成30年2月に策定した財政健全化緊急プログラムのうち「5 取り組み内容の概要」について改訂する。

<参考> 緊急プログラム期間中における財政構造の変化（イメージ）



## 2 高岡市公共施設再編計画に掲げる施設に関する取組み(R2~R4)年度

### (1) 公共施設再編計画【短期(2018-2022)】に掲げる施設の再編 <50施設> (H30~R1年度分を除く)

#### ○譲与(38施設)

施設名	実施見込
福岡地区集会所(33施設)	R2.4.1
木楽館、下牧野公民館、三千坊、伏木漁村センター、戸出町六丁目自衛消防隊小型動力ポンプ置き場	R2~R4年度 (検討中)

#### ○譲渡(5施設)

施設名	実施見込
福岡ふるさと会館	R2.4.1(廃止)
福岡ふれあい交流センター、とやま・ふくおか家族旅行村、ロッジ山ぼうし、こぶし荘(浴室)	R2~R4年度 (検討中)

#### ○民営化・譲渡(1施設)

施設名	実施見込
だいがوデイサービスセンター	R2.4.1

#### ○廃止(5施設)

施設名	実施見込
高岡駐車場	R2.4.1
北部保育園	R3年度
島田邸、長慶寺室内プール、万葉スポーツセンター	R2年度~R4年度 (検討中)

#### ○一部廃止(1施設)

施設名	実施見込
ふれあい福祉センター(体育館)	R2年度~R4年度 (検討中)

(2) 公共施設再編計画【方針決定】に掲げる施設の早期方針決定<83 施設>

施設名	方針決定・見込
小・中学校(36 施設) [※向こう10年間の統合対象校 の方針を決定]	適正な学校規模を確保し、教育充実を図るため、学校の再編統合を推進  国吉中学校区 …義務教育学校に再編統合し、小中一貫教育を推進(令和2年) 高岡西部中学校区 …川原小、西条小、横田小を再編統合し、高岡西部中との小中一貫教育を推進 高陵中学校区 …平米小、定塚小を再編統合し、高陵中との小中一貫教育を推進 伏木中学校区 …太田小、伏木小、古府小を再編統合し、伏木中との小中一貫教育を推進 中田中学校区 …中田小と中田中を再編統合し、小中一貫教育を推進
二上まなび交流館	令和2年9月末で営業終了
公民館(31 施設) トレーニングセンター(4 施設)	教育将来構想検討会議より令和2年度中に答申予定
福岡ストックヤード	令和元年度末で廃止
市民会館、美術館、博物館、里山交流センター、職業訓練センター、醍醐会館、石瀬共同調理場、本庁舎、福岡庁舎、オタヤグリーンパーキング(エレベーター棟)	(検討中)



### 3 職員数の適正化・時代に対応した行政組織等について

#### (1) 時代に適応した行政組織

##### ① 高岡・氷見消防広域化準備室の設置

- ・令和3年度からの消防広域化に向けた準備を着実に進めていくため、消防本部総務課内に高岡・氷見消防広域化準備室を設置

##### ② 防災体制の強化

- ・災害時における消防本部との連携強化を図るため、総務部に参与（危機管理担当）を配置

##### ③ 業務執行体制の見直し

###### ・商業雇用課

御旅屋セリオを核とするまちなかの賑わい創出を着実に進めていくため、商業・中心市街地活性化係を商業振興係と中心市街地活性化係に再編

###### ・子ども・子育て課

放課後児童クラブの整備、幼児教育・保育の無償化など複雑多様化する子育て支援へのニーズに丁寧かつ迅速に対応するため、総務係、児童係を総務係、子育て支援係、入園・給付係に再編

#### (2) 職員数の適正化

現行の「第2次行財政改革アクションプラン(2015-2019)」では、70人の減員に取り組んでいる。さらに、財政健全化緊急プログラム期間(2018-2022)においては、第2次行財政改革アクションプランに掲げる目標を超える減員目標(5年間で70人超)を掲げて取り組んでいる。

<職員実数> 2020.4(見込み) : 1,773人  
(2019.4 : 1,788人 前年比△15人)

#### 【参考】

高岡市行財政改革推進方針(第2次行財政改革アクションプラン)における適正化目標

2020.4 : 2015.4の職員数を基準として △70人(1,904人⇒1,834人)

実績見込み△131人(達成率187.1%)

財政健全化緊急プログラムにおける目標

2023.4 : 2018.4の職員数を基準として△70人超

2020.4 : 実績見込み△69人

① 職員実数

区 分	2019. 4	2020. 4	差引	【参考】 類団 (2018. 4)
議会の事務局の職員	11 人	11 人	0 人	9 人
市長の事務部局の職員(高岡市民病院事業会計に属する職員を除く。)	763 人	757 人	△6 人	856 人
監査委員の事務局の職員	5 人	5 人	0 人	7 人
農業委員会の職員	4 人	4 人	0 人	—
教育委員会の事務局の職員	51 人	51 人	0 人	68 人
教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員	121 人	113 人	△8 人	52 人
消防職員	223 人	223 人	0 人	200 人
小 計	1, 178 人	1, 164 人	△14 人	1, 192 人
高岡市民病院事業会計に属する職員	482 人	485 人	3 人	—
上下水道事業管理者の事務部局の職員	72 人	70 人	△2 人	—
その他 (特別会計、高岡地区広域圏事務組合)	56 人	54 人	△2 人	—
合 計	1, 788 人	1, 773 人	△15 人	—

② 主な執行体制の見直し

ア 事務事業の執行体制の見直し (△19)

- ・学校管理体制の見直し
- ・廃棄物処理体制の見直し
- ・公益法人等派遣の見直し など

イ 民間委託・民営化、事務の共同処理 (△9)

- ・新ストックヤードの民間委託
- ・道路パトロールの民間委託 など

ウ 事務事業の増加等 (+13)

- ・次期総合計画策定に向けた体制強化
- ・国勢調査に向けた体制強化
- ・防災体制の強化 など